

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市社会福祉研修・情報センター
施設所管課・担当	福祉局生活福祉部地域福祉課（西村・溝口）
条例上の設置目的	社会福祉に関する各種の情報を総合的に提供し、社会福祉に関する知識の普及、啓発等を行うとともに、社会福祉に携わる人材の確保及び育成を図ることにより、市民の福祉の増進に寄与することを目的とする。
業務の概要	（１）福祉・介護人材の確保・定着・育成に関する業務 （２）社会福祉に関する普及啓発・情報提供 （３）社会福祉に関する調査研究 （４）貸室業務 （５）施設の総合管理 （６）建物及び附属設備の維持保全業務 等
成果指標	研修受講者満足度評価指数/研修受講者目的達成率/研修定員充足率/貸室利用率
数値目標	5段階評価で4.48以上/81.8%以上/69.9%以上/59%以上
指定管理者名	社会福祉法人大阪市社会福祉協議会・太平ビルサービス大阪株式会社共同体
指定期間	令和２年４月１日～令和７年３月31日（５年間）
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	研修受講者満足度評価指数	研修受講者目的達成率	研修定員充足率	貸室利用率
数値目標	5段階評価で4.48以上	81.8%以上	69.9%以上	59%以上
年度実績	4.6	83.5%	74.4%	45.4%
達成率	102.7%	103.0%	106.4%	76.9%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
貸室利用延人数	36,678	26,827	9,851
貸室利用率	45.4%	43.8%	103.7%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	142,242,000	140,255,000	2,062,000	物価高騰により光熱費の増
	計画	140,180,000	140,255,000		
利用料金収入	実績	-	-	-	-
	計画	-	-		
その他収入 （参加料等）	実績	12,698,138	11,486,648	-2,668,862	予算では、定員充足率100%として参加料を積算しているため
	計画	15,367,000	16,591,600		
その他収入 （光熱水費等按分）	実績	9,922,534	10,720,357	-797,466	当初計画の光熱水費の実績が下回ったことによる負担金収入の減
	計画	10,720,000	8,300,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	2,223,166	2,197,216	213,166	清涼飲料水自動販売機収入、広告料収入の増
	計画	2,010,000	2,010,000		
合計	実績	167,085,838	168,377,751	-1,191,162	-
	計画	168,277,000	173,675,480		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	75,816,900	68,037,089	-6,133,100	計画当初以降、人事異動等による単価の減
	計画	81,950,000	73,480,000		
物件費	実績	80,056,163	83,363,441	-6,845,237	諸謝金、消耗品費、光熱水費の減
	計画	86,901,400	91,757,350		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	1,432,593	1,527,697	-577,407	消耗品費の減による減
	計画	2,010,000	1,919,250		
合計	実績	157,305,656	152,928,227	-13,555,744	-
	計画	170,861,400	167,156,600		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
研修受講者満足度評価指数5段階評価で4.46以上	102.7%	B	—
研修受講者目的達成率81.6%以上	103.0%	B	—
研修定員充足率69.8%以上	106.4%	B	—
貸室利用率58%以上	76.9%	C	新型コロナウイルスの影響以前の利用者の利用が回復しないが徐々に使用率は上がっている

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
各設備の保守点検や建物及び附属設備の維持保全業務を適切に実施し、修理・交換が必要な場合は、できるだけ早く対処することで、施設の長寿命化を図っている。	B	設備等の不具合があった場合、設備修繕等管理表により不具合の内容をまとめている。この内容をもとに修繕計画を立て修繕し、施設の長寿命化を図っている。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・修繕箇所が判明した場合、大阪市へ速やかに報告するとともに、管理表として一覧にし、修繕が行われるまでの経過をまとめている。 ・トイレに便座消毒を設置したほか、様式便所に温水洗浄便座を設置した。 ・外壁改修工事実施中において、自転車置き場や資材置き場の調整など市民の方に対して安全で不便なく来館するための工夫を行った。
事業計画の実施状況	B	・当初事業計画通りの研修開催ができている。 ・令和5年度よりXによる投稿を再開しており徐々に登録者数は伸びている状況であり、研修の案内や研修の実施報告など日々の投稿に力を入れている。
施設の有効利用	B	・障がい者作業所の物品販売の出店日数が昨年度を上回った日数となっており、13団体に対してエントランスホールで出店に活用できた。 ・多くの市民の方にセンターを知っていただくとともに、社会福祉に関する情報発信等を目的に、全館を活用した「ウェルおおさか はーとフェア2023」を12月に実施し、講演会や映画上映会、介護保険や里親制度、子ども子育て情報など様々な情報発信を行った。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・大阪市環境基本計画に沿って省エネルギー対策やリサイクルの取組みを行っている。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

・研修直後に受講者に対し、満足度に関するアンケート調査を実施したところ、5段階評価で年間平均4.6となった。 別紙「令和5年度 研修事業報告書（総括表）」のとおり。
・利用者アンケート
（1）調査方法 今年度：はーとフェア参加者、研修受講者、図書室利用者、貸室利用者アンケートを回収 （昨年度：来館者、セミナー受講者、図書室利用者、貸室利用者からアンケートを回収）
（2）回答者数 437人（昨年度300人）
（3）質問項目 （ア）基本属性（年代、居住地、所属先等）、（イ）利用状況等、（ウ）評価等、（エ）自由意見
（4）結果 ・来館頻度について、回答者の65.7％（昨年度56.3％）が「2回以上利用したことがある」と回答しており、複数回にわたって利用される方が半数以上いる状況であった。 ・スタッフの対応について、「とても良い・良い」との回答が94.7％（昨年度94.3％）となっており、研修・情報センターの職員への印象については良好である。 ・施設の美観について、「とても良い・良い」の評価が90.2％（昨年度87.3％）であった。 ・施設の利用に関する満足度については、「とても満足」と「満足」の回答を合わせると87.4％（昨年度88.7％）となっており、利用した満足度は高い状況となっている。 ・研修・情報センターのX・Facebookを見たことがないといった回答が84.2％の一方、「ウェルおおさか」を「見たことがある」が65.4％と一定数見られた。

6 外部専門家意見

・外国人人材の受け入れ側の研修をするなど社会福祉に関する研修に積極的に取り組まれていることは評価できる。
・昨年度と比較すると研修評価が上がっている研修もある一方で、評価指数が変わらない、又は下がっている研修については、今後も研修の中身の改善していける余地や見直しの必要があるものもあると思うのでしっかりやっていただきたい。
・広報費については、検討の余地がまだあるため、配布数の見直しをするなど、よりよい良い情報発信になるようにしていただきたい。
・大阪市社会福祉研修・情報センターの機能として、他団体でもできる研修をしていくのか。それとも他団体が研修をできるように、他団体のリーダー層向けの研修や他団体ではなかなか着手できない先進的な研修をしていくのか。また、単独の事業所では実施しにくい研修を担う等すれば、センターとしての機能をもっと発揮できるのではないか。
・1階エントランスの活用方法について、就労継続支援B型事業所の活躍の場にしていくとすると、複数団体の参加があれば、より盛り上がるのではないかと感じた。
・福祉介護の魅力について、小さいときから福祉介護の仕事に触れれる機会ができればと考える。
・メンタルヘルス相談の利用者が伸びていないのでそのあたりの工夫は必要だと考える。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	成果指標については、研修受講者満足度評価指数、研修受講者目的達成率、研修定員充足率と各項目で目標を上回る評価となっていた。
市費の縮減		B	施設の適切な維持管理を実施することで大規模な工事等を未然に防止することにより、市費の縮減に務めている。
管理運営の履行状況	施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B +	・トイレに便座消毒を設置したほか、様式便所に温水洗浄便座を設置し、サービスの質の向上につなげている。 ・外壁改修工事实施中において、自転車置き場や資材置き場の調整など市民の方に対して安全で不便なく来館するための工夫しわかりやすく案内をしていた。 ・令和5年度よりXによる投稿をしており、日々多くの投稿により研修の案内や実施報告、センターの現状を伝えるなど日々工夫しながら情報発信を行っていた。
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		B	・1年間実施した研修に関する成果指標は水準を上回っており、今後もより良い研修を通じて福祉介護人材の資質の向上につがけて行く必要がある。 ・センターの機能や、センターが担う社会福祉に関する情報発信については、丁寧に発信していく必要がある。 ・調査研究などから必要とされる研修ニーズを把握し実施していく必要がある。